

第2回看護研究会

(看護補助者教育研修会)

令和7年8月5日(火)

岡山国際交流センター

〔午前〕講演

演題 『ケアのこころ ～介護の基本～』

講師 川崎医療短期大学 医療介護福祉学科
教授・学科長 山田 順子 先生

〔午後〕講演

演題 『「ホスピタリティ×自分らしさ」を仕事に活かす』
～ 感謝とエール ～

講師 株式会社タンタビーバ 取締役 板谷 和代 氏

(一社) 岡山県病院協会

第2回看護研究会（看護補助者教育研修会）のアンケート集計（令和7年8月5日）

（ 52病院 123名 出席 ・ 118名 回答 ）

1. 講演『ケアのこころ ～介護の基本～』を聞いて。

（講師：川崎医療短期大学 医療介護福祉学科 教授・学科長 山田 順子 先生）

A.

a. 大変勉強になった	102名	b. 勉強になった	16名
c. 勉強にならなかった	0名	d. 全く勉強にならなかった	0名

B. 講演内容について

a. 大変分かりやすかった	93名	b. 分かりやすかった	23名	c. 普通	1名
d. 少し難しかった	6名	e. とても難しかった	0名	未記入1名	

C. 感想や、改めて気づいたこと・これから取り組んでいこうと思ったことがあれば記入して下さい。

- ・ とても楽しく勉強できた。分かりやすかった
- ・ 楽しく学べた
- ・ また聞きたい講演だった
- ・ 伝え方が大変勉強になった
- ・ 仕事に慣れてしまい初心を忘れることもあり、大変勉強になった
- ・ 講演が単調にならず、先生のお人柄が分かるような話し口調でとても良かった。これから良いところ探しを頑張る
- ・ 日々の業務にとっても前向きになれる講演だった。リフレーミングを取り入れて日々頑張りたい
- ・ 患者様以外に、スタッフへの指導にも使える内容だった。共感・なるほどと思うことがあった
- ・ 新しい職員が入ってきて、教えていくのに基本を学び直したいと思っており、声かけ・観察・伝え方などとても勉強になった
- ・ 「介護は良いところ探し」を少しずつ実践できればと思った
- ・ 患者さんの良いところ探しをしていこうと思った
- ・ 介護は良いところ探し、ということを中心に留めて働いていきたい
- ・ 介護は良いところ探し、良い言葉だなと思った。リフレーミングを意識してみようと思った
- ・ 自分の仕事を最下層と位置付けるのをやめて、もっと誇りを持って取り組もうと思った
- ・ 自分の思考の癖に気をつけて仕事をしたい
- ・ 自分自身を知ること！自分の考えの傾向を知ることで今後の仕事に活かしていきたい
- ・ 自分のことを知る重要性も分かり、毎日の取り組みに生かせたらと思う
- ・ 人を支える仕事なので、自分のクセを知り、相手に伝わりやすく工夫できるようにしていけたらと感じた
- ・ 演習が多くて分かりやすかった。自分の思考のクセを見つめ直して、患者さんへもっと寄り添えるよう努力したい
- ・ ワークで楽しく学べた。自分を知ろうという所で反省点などが分かり良かったと思う
- ・ 隣の人と実際にやってみて、普段自分がどのようにしているか改めて分かった。とても分かりやすかった
- ・ 思っている、いつもダメな方の患者さんとの接し方をしてしまっているなど感じた。今後参考にしながら働けたらいいと思った
- ・ 頭では分かっている、日々の忙しさの中で間違った対応をしてしまうことが多々あり、気をつけようと思った

- ・ 2.5時間あっという間だった。新しい発見もあり、自分よがりになっていないか考えられた。いろいろな考え方があったなど実感した
- ・ 患者に接する・病院の顔・評価の最重要職、納得できた。伝達やジェスチャーの難しさを知った
- ・ 普段の仕事でできていないことを見直すことができた
- ・ 今の仕事を見つめ直すいいきっかけになった
- ・ 知識や経験から、固定観念を持ちやすいため、柔軟かく幅の広い人格を目指せばと思った
- ・ 相手のことを知ることも大切だが、自分のクセや自分を知るということも大切だと改めて思った
- ・ 自分自身のクセを知り、相手の気持ちをくみ取り、寄り添う介護を心掛けようと思った
- ・ 自分の聞き癖・思考癖により偏った受け取り方しかできなくなっていたので、ありのままを受け取れるように注意していきたいと思う
- ・ 介護において自分を知っておくことは大事で、患者さんとより良い関係で日常生活の援助をしていきたい
- ・ 患者の立場になって考えることの大切さを再認識した
- ・ 患者さんの気持ちをしっかり受け止めて寄り添った看護をしていきたい
- ・ 日々の仕事の中で、患者さんに対する関わり方を改めて考え、寄り添いをしていこうと思う
- ・ 相手の伝えたいことを理解できるよう、気持ちに寄り添い傾聴し共感できるようになっていければと思う
- ・ もっと患者様側の気持ちになった、補助の仕事をしていきたい
- ・ 利用者さんの発する言葉をそのまま受け取らず、その言葉の奥にどんな気持ちがあるのかを考えたいと思った
- ・ 傾聴するということが大切と改めて分かった
- ・ 患者さんの心・気持ちに寄り添いたい(2)
- ・ 患者様の訴えなどにちゃんと傾聴していこうと思った
- ・ 利用者の言葉を傾聴し、気持ちを考え声かけしていこうと思った
- ・ 傾聴について改めて勉強になった。スタッフと関わる時にも取り組んでいこうと思った
- ・ 傾聴をゆっくりとしてあげて、認知症の患者様の不穏を落ち着かせて取り組みたい
- ・ 傾聴することが自分自身苦手だと思うので、今後傾聴を大切に、患者さんに寄り添っていきたい
- ・ 相手の気持ちを読み取ることの大切さをしっかり考える
- ・ 患者様の本当に伝えたい気持ちも考えながら言葉を返す
- ・ 声かけを改めて気をつけていきたい
- ・ 相手の気持ちを理解し、共感したい
- ・ 患者さんが理解できるように話をしたい
- ・ 患者様ともっと関わっていこうと思った
- ・ いつまでも「いつもと違う」に気づけるよう関わりを持っていこうと思った
- ・ いつもと違うちょっとした変化をキャッチして、安心・安全な生活が送れるよう正しい行動をしていきたい
- ・ いつもと違うというちょっとした変化、気持ちに気づいて対応できる力をもっと身につけたいと感じた
- ・ 心を通わす方法に、多様なコミュニケーションがあるのがとても為になった
- ・ 実際に認知症の方や患者様に対するコミュニケーション方法を学び、難しいということに気づけた。ただ聞くだけでなくいろいろ体験させていただきありがとうございました。楽しかった
- ・ あいさつやコミュニケーションは本当に大事だと思う。これからも続けていきたいと思う
- ・ 患者さんに合ったコミュニケーションを心掛けようと思った
- ・ 患者さんとのコミュニケーションを大事にし、相手の気持ちを理解してあげられるようにしたい
- ・ 今回学んだことを生かして、患者とのコミュニケーションをとっていきたい

- ・ 人とのコミュニケーション・思いやりが大切だと思った。ありがとうの言葉を一番に使うことが無意識にできるようにする
- ・ コミュニケーションを取る難しさ、改めて思った
- ・ コミュニケーションを、大切にしたい・より工夫する・大事にすること(2)
- ・ 自分のコミュニケーションスキルに伸びしろがあると感じた。頑張ります！
- ・ 今まで以上にコミュニケーション技術に力を入れていきたいと思った
- ・ 介護していく中で、コミュニケーション技術、難しいが一番大切なことだと改めて思った。長く仕事をしているとマンネリ化してきてしまう。見直さないといけないと思った
- ・ 伝達する時の姿勢（コミュニケーション・言葉遣い）を改善したり、技を研究したいと思った
- ・ 口やジェスチャーだけでは上手く伝わらなかったり間違っただけで伝わってしまうので、相手の特徴に合わせて分かりやすく伝えるということと、患者さんの要求等に対して否定や現実を突きつけるのではなくまずは受け入れるということが大切だと知ったので、意識して取り組もうと思った
- ・ 言葉だけ・ジェスチャーだけ、伝え方もその人その人に合わせて行うこと、傾聴するときとはとにかく受け入れ否定しないことなど、コミュニケーションについて改めて考えることができた
- ・ 日々仕事に追われることが多くなると、患者さんの裏の想いを考えることができなくなっていた
- ・ 業務の最中に患者さんから声を掛けられると、丁寧に答えてあげられず、きちんと伝わってなかったんだろうな・・・と気づいた
- ・ 自分にコミュニケーション能力が足りないことに気づいた。リフレーミングを身につけ、ポジティブ思考を意識しようと思う
- ・ ありがとうございます。患者様に向かうと仕事というスイッチが入りコミュニケーションも取れるが、スイッチが切れると職員間や家族にもコミュニケーション不足なことが多々あるので、学んだことを私生活にも活かしたいと思った。自分のクセが分かった
- ・ コミュニケーションの大切さ。相手に伝わらなければ、伝え方を変えてみる！
- ・ 患者さん・利用者さんに分かりやすく伝わりやすいコミュニケーションが取れるように、考え方を変えていこうと思った
- ・ コミュニケーションのとり方。その方に合ったコミュニケーションをとる大切さを感じた。職場に帰ってからもどうやったら患者さんに理解してもらえるか考えながら、日々の業務をしていきたいと思った
- ・ 相手に伝わるように言葉を考え、患者さんの支えになれるように努力していく。ありがとうございます
- ・ 相手の立場になって分かりやすく伝え、じっくり向き合う大切さを感じた
- ・ “伝える”と“伝わる”は違うことを改めて思った
- ・ 演習を通して、伝わっているつもりでいることがいかに危険であるかを再確認させられた。
“こうして欲しかったのに”や“こう伝わっている”と思っていたのは、すべて自分の気持ちをぶつけているだけなので、いかに相手に伝わるように工夫するかを意識しながらコミュニケーションを取っていきたい
- ・ 自分は伝えられているつもりでも、相手に伝わるのは言葉なしではお互い大変だと改めて感じた
- ・ ジェスチャー（伝える方法）で、その人その人により同じ動きを見ても違って伝わっていたことが大変よく分かった。伝える方法を多く持っていきたいと思う
- ・ 患者に対して言葉の伝え方、言い回し、ポジティブな言い換えなどできることをしていきたい
- ・ ネガティブに捉えるだけでなく、ポジティブな表現に変えることが大切だと感じた
- ・ 日頃からポジティブな考えをする意識を持つ・努力する(2)

- ・ ネガティブ思考のため、少しでも前向きに考えられるようにしていこうと思う
- ・ 自分の判断は置いて、人の話を聴くことを大事にしようと思った
- ・ ありがとうという感謝の言葉をもっと出していこうと思った。人の笑顔を引き出して、自分自身も元気で仕事をしたい
- ・ 「すみません」ではなく「ありがとう」という言葉を大切にしたいと思う
- ・ 相手に「すみません」より「ありがとう」と伝えるようにする
- ・ 関わり方を考えること。マスクをして表情が分かりにくい分、笑顔での対応に気をつける

2. 講演『「ホスピタリティ×自分らしさ」を仕事に活かす ～感謝とエール～』を聞いて。

(講師：株式会社タンタビーバ 取締役 板谷 和代 氏)

A.

a. 大変勉強になった	82名	b. 勉強になった	34名
c. 勉強にならなかった	0名	d. 全く勉強にならなかった	1名

未記入1名

B. 講演内容について

a. 大変分かりやすかった	75名	b. 分かりやすかった	22名	c. 普通	10名
d. 少し難しかった	5名	e. とても難しかった	0名	未記入6名	

C. 感想や、改めて気づいたこと・これから取り組んでいこうと思ったことがあれば記入して下さい。

- ・ 常日頃自分が思っていたことそのままでも共感できた
- ・ 自分自身を見つめ直し、これからやりたいことを考えたい
- ・ 難しかったが、自分と向き合う良い機会になった
- ・ とても学びの多い講演だった。自院にもぜひ来ていただきお話ししていただきたい
- ・ 仕事に対するモチベーションや今後の自分の人生に取り入れてみようと思える考え方だった
- ・ 働くことの本当の意味に気づき、輝いた人生を送りたいと思った。とてもたくさんの気づきがあった。ありがとうございました
- ・ 最後の話で、チームで仕事をしている、介護・看護補助者という手足の部分、働きにくいところもたくさんある。何か今回の研修で少しでも変われたらいいなと思った
- ・ 先生の生きていく姿勢は見習いたいと思った。プロフィールの話だけでも想像をかき立てられ、当時の社会情勢の中で働いてこられたことが興味深かった
- ・ 先生のパワー素晴らしい。若いです。自分も頑張る
- ・ 先生の笑顔が素敵で、こちらにもよく伝わりパワーをいただけた
- ・ ホスピタリティ・マインドを大切に、より働きやすい職場にしていきたい・チームケアを日々頑張りたい(2)
- ・ ホスピタリティ×自分らしさを大切にしたいと思う ・ ホスピタリティの意味を知れた
- ・ 経験が長くなるにつれて、ホスピタリティというとても大切な言葉を忘れかけていたので、改めてしっかり今の自分を見つめ直し、初心を思い出して仕事をしていきたいと思う
- ・ ホスピタリティとは思いやりの連鎖、という言葉がとても響いた。受け止め方が変われば感情も変わるということで仕事もポジティブに考えていきたい
- ・ 感謝、敬意、思いやりを大切にするようにする
- ・ 敬意、感謝、思いやりを忘れず、人として関わっていこうと思った

- ・ いろいろな職種の人と仕事をしている日々だが、感謝、敬意、思いやりの言葉がささった
- ・ 相手にありがとうを伝える。勇気づける言葉を選んで倫理を意識しながら患者さんと向き合っていこうと思う
- ・ 勝手な思い込みや決めつけは止め、自分と関わる人すべてに敬意・感謝・思いやりを持って働こうと思った
- ・ 自己肯定感を高め、たくさんの感謝・敬意・思いやりを持ち、仕事に取り入れていきたい
- ・ 自己肯定感を上げ、より良い職場環境を作り、スタッフ間で「ありがとう」の言葉掛けを増やしていきたい
- ・ とても感動した。笑顔の大切さをたくさん学んだ
- ・ 広い心を持てるようになりたい
- ・ 笑顔で感謝を持って日々過ごしていきたいと思う
- ・ 今チームメンバーの圧力が強く苦しい思いをしているが、明るい未来を信じて笑顔を続けようと思う
- ・ 人の悪い所ばかり目についてしまうが、良い所を見てイライラしないで働けるように努めたい
- ・ 他者に対して思いやりを持って、他者との違いを受け入れ、自分の幅を広げていきたい
- ・ 自分自身をほめていこうと思う
- ・ 心が少し軽くなったように思えた。朝、鏡を見て自分をほめて仕事に行こうと思った。病院に来てもらって話をしてほしいと思った
- ・ 自分自身をほめることを知らないというか、怒られての教育を受けていたせいか、家族に対しても愛があるのに上手にほめることが苦手だということを、本当に学んだ。家庭でもほめることをしていこうと思った。職場や患者さんにはほめることはできるのだが。
- ・ もう少し自分に自信を持って進んでいきたいと思った
- ・ 他者（患者）の心はもちろん大切だが、同時に自分の心も大切にしようと思った
- ・ 相手を思いやる気持ちと自分らしさを大切にすることが、両立できるのだという発見があった。モチベーションを上げて笑顔を大事にしていきたい
- ・ 自分らしさを、大切にしたい・大切に生活したい(2)
- ・ 自分らしさを強みにして、患者さんとの関わりを大切にしていこうと思う
- ・ 自分らしさを活かし、ポジティブに考えながらチームの一員として頑張ろうと思った
- ・ 自分の得意なこと、好きなこと、少しでも人の役に立つことが看護助手という仕事
- ・ ネガティブで自分のことを好きになることが難しく、強みを探すのは難しかったが、ネガティブな面を言い換えたら強みに変換することができると知り、ものは言いようなので、少しずつでも前向きな性格にしていきたい。強みと弱みは表裏一体という言葉信じたいと思った
- ・ 日本人特有なのか、ほめられ慣れていないため、ポジティブ思考になることが難しいが、自分らしさ・自分の強みを見つけポジティブになれるよう少しずつ変わっていききたい
- ・ 何でもポジティブな捉え方をして、ハッピーな気持ちで仕事もプライベートも楽しみたいと思った
- ・ ポジティブ・ネガティブな考え方も、捉え方一つで変えていくことが大切だと思った
- ・ 仕事に関わる人の姿勢が仕事を面白くしたりつまらなくしたりする・・・という所で、楽しく仕事をするために、前向きに取り組んでいきたいと思った
- ・ 明日から前向きに仕事に行けそう。仕事に対する考え方を変えていく
- ・ プラス思考でいこうと思ったら、良質な言葉を口にする
- ・ バイタリティーに溢れた講演だった。見る側面を変えてみる。大切ですね
- ・ 最後の動画がとても感動した。受け止め方・気持ちの持ちようで良くも悪くもなると思った
- ・ 最後のビデオで「自分」を見つめる・他者を見つめる・分かち合うことの大切さを学んだ。とてもいいビデオだった

- ・ 考え方・捉え方次第で見えてくる世界が全く違うことに気づくことができた
- ・ 一見マイナスに見えることも、見える方向性を変えることで良い方向にも捉えることができる
- ・ 毎日楽しく生きるために、物事をいろいろな方向から見られるようになりたい
- ・ いい事があるから笑うんじゃない、笑っているからいい事がある。今からしてみよう!!と思った
- ・ 自分が笑顔でいることで周りが幸せになれる。笑顔を伝えることで周りにも笑顔が伝わる。そんな風に思っているが、自分の思いは間違っていないと思えた
- ・ 自分も以前までは笑顔で仕事をできていなかったが、今の仕事に就いてから笑顔を大切にしている。今回、笑顔でいることの大切さを学んだように感じる
- ・ 仕事はチームで行って成り立っていることを再確認できた
- ・ 仕事は一人でこなしていくものではなく、チームとして成し遂げていくもの。そこに思いやり・信頼・感謝を常に持っていくこと
- ・ 自分一人では仕事ができないこと。チームの一員として感謝・敬意・思いやりを持って働きたい
- ・ 目標を明確にする。チームの一員として何ができるか考え直してみる。仲間に対する接し方を変えてみる。「違う」仲間を尊重する
- ・ 同じ状況でも人によって感じ方・考え方は変わり、それは多様性となりチームの強みになるので、考えを積極的に表に出し話し合いやコミュニケーションを取っていくこと、感謝をすることを心掛けようと思った
- ・ 一つの物を見ても相手を感じることで自分が感じることで思っていることは違う。相手の話をもっと深く聞いて問題点を一つずつ解決して行きながら、楽しく明るく働きがいのある職場に変えていきたいと感じた
- ・ 自分自身、思い込み・決めつけをやってしまうこともあると思う。人それぞれ考え方も違うと、少し時間が経てば気づき落ち込むこともよくある。自分に対して笑顔を持って、受け止め方一つでポジティブに変われる。人それぞれ見ている方向も違うんだと受け止められるように、相手を思えるようになっていきたい。そして毎日チームの一員として楽しく仕事をしていきたい
- ・ 1人では働けない、ということが分かった
- ・ 自分の強みを知り、それぞれの役割を持ってチームが強くなるということ
- ・ 良いチームであるには、一人ひとりの意見を出し合うことが大切だと思った
- ・ 職場の仲間と今以上に助け合って頑張る ・ お互いを認め合い、思いを話し合っていく
- ・ チームの一員として楽しく仕事ができたらと思った ・ 仕事を楽しむ
- ・ 今の仕事を良い仕事にしていきたい ・ 人生楽しく
- ・ 入職当時に感じていた仕事の楽しさを、ついつい忙しくて忘れてしまっていた。楽しさを思い出すことで、イキイキとして仕事ができると思うので、もう一度考えながら働いていきたい
- ・ 心・気持ちは大切だといつも思っている。楽しい職場・仕事ができればいいなと思う
- ・ 誰にとっても楽しい職場であり、考え方がみんな違って当たり前だということが勉強になった
- ・ 明日をより良い日にするためのマインドを知った。「楽しい気分の先に成果がある」心に響いた
- ・ 仕事をする上で知識・スキルはとても大切だが、一番大切なのはマインド（心）
- ・ 出来事→感情の間に、受け止め方を変えるだけでハッピーになる。ハッピーになるように考えるようにしようと思った
- ・ 相手をハッピーにするだけでなく、喜びや感動を共有することで自分もハッピーになるということは、良い関係を築けばこそだと思った
- ・ アンコンシャスバイアスについて考える。自分らしさを活かす！
- ・ 無意識の思い込みを、気をつけたい・止めるようにしたい(2)

- ・ 無意識、思い込みのまま仕事をせず、他者としっかり話し合い気持ち良く仕事をしたいと思う(2)
- ・ 無意識の思い込みに気をつけようと思った。しっかり話し合いたいと思う
- ・ 相手のことを思い込みで対話せず、フラットになって接していきたい
- ・ これはこうだと決めつけず、自分らしく明日からも頑張っていこうと考えられた
- ・ 患者さんと関わる際に、自分の当たり前を押しつけず、相手に伝わるようコミュニケーションしていきたい
- ・ 難しいことがたくさんある中、コミュニケーション意欲をなくさないように頑張る
- ・ 上司にうけてもらいたい内容だった
- ・ 内容は面白かったが、大学の講義を受けているみたいだった
- ・ 半日ムダになった。自己満足のエゴイスト、話が全く入ってこない

3. 仕事をする上で困っていることや、今後勉強したいこと・聞きたいこと等希望する研修内容などがあればご記入ください。

【仕事をする上で困っていること】

- ・ 部下とのコミュニケーション
- ・ 人間関係（職場内）が一番難しいと思う
- ・ 良い研修を受けても、それを職場で共有するのが難しい。共有する機会がないのと、研修を受けた人とそうでない人との温度差がある
- ・ 仕事は充実し好きだが、先輩達とうまくいかない。自分を変えと言われても難しい
- ・ 空気を読むこと、相手の気持ちを察しながら雑談をすることが苦手で、周囲の人々と話すとき困っている
- ・ 若手への指導・アドバイスをしていく場面が増えてきた。倫理的にモヤモヤする場面（言動・行動）でのチームへの投げかけ方を考える
- ・ 夜勤専従ナースが患者様をイライラさせることに困る。おしめ装着がきちんとできない職員が多い
- ・ 知らないことがまだまだたくさんある。日々の仕事に追われ、患者さんの内面の思いまで気づけてあげられていないと思う。心のゆとりの持ち方をどうしたらよいかと思う
- ・ 物事をあまり良い方向に捉えられず、落ち込みやすい
- ・ 自分のやりたいこと・患者さんと関わる時間がない

【今後勉強したいこと・聞きたいこと等】

- ・ 今回のような、基礎と前向きになれる講演が良い。とても良かった!!
- ・ 仕事に活かす研修を受けてすごく前向きになった。もっとお話を伺いたいと思った
- ・ 多職種の方々と聞けたり参加できる、コミュニケーションの話を聞きたい
- ・ 可能なら実技講習を行っていただきたい
- ・ 仕事への向き合い方、楽しく働くこと
- ・ 補助者同士・看護師との上手な関わり方
- ・ 多職種との連携の仕方、退院支援の役割
- ・ 職員間の人間関係トラブルの介入の仕方
- ・ 手指等ケアの実践とかがあればうれしい
- ・ 職場は高齢者が多いので、認知症ケア専門士の勉強をしていこうと思っている
- ・ 介護記録、日々のレクリエーション、認知症の方との関わり方・接し方
- ・ 認知症について・認知症のことを知りたい(2)
- ・ 認知症・せん妄。依存の強い人への対応
- ・ 認知症の対応について研修があれば、また受けたいと思う
- ・ 病気になったときや病気と共に生きる人の心理面について、とその対応について
- ・ 「看護補助者」を事業所によって呼び名を分けている。なぜ分けなければならないのか、なぜ呼び名が統一できないのか。その理由

【その他】

- ・ 多職種の中で自分ができていることをやることの大切さが必要だと感じた
- ・ 自分のプラス面とマイナス面を感じながら毎日仕事をしている。もっと自分のプラス面を良いと思える魔法の言葉があればいいと思う。いろいろな方の話を聞いたり本を読んで、自分だけのものが見つかれば良いと思う
- ・ 職員同士がギクシャクしている場面には「そんなときもあるよ」とは伝えている
- ・ 決めつけ・押しつけ、ハッとした。分かっているが言っているかも。自分の子供にも同じ事をしている自分に反省
- ・ 今日は本当にありがとうございました

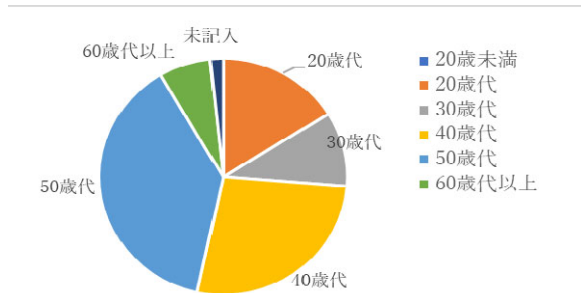
4. 今回の研究会に参加した動機はどれですか？

- a. 病院から参加を勧められた (18) 名
- b. 自分から積極的に出席した (2) 名
- c. その他 (0) 名 未記入 (1) 名

- ・ 今日是有り難うございました。感謝
- ・ 二つの講義をうまく取り入れたらいい仕事ができそう。よかった。ありがとうございました
- ・ 会場が暑すぎて、頭が痛くなりしんどかった。時間厳守にしてほしい
- ・ 時間はきちんと守ってほしい ・ 暑い。場所どうかにかけてください

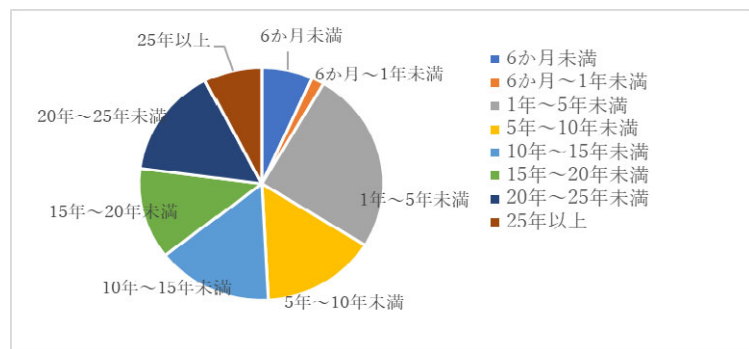
【年 齢】

20～29歳	(19)
30～39歳	(12)
40～49歳	(32)
50～59歳	(45)
60歳以上	(8)
未記入	(2)



【勤務年数】

～6ヵ月未満	(8)
6ヵ月～1年未満	(2)
1年～5年未満	(30)
5年～10年未満	(18)
10年～15年未満	(18)
15年～20年未満	(15)
20年～25年未満	(18)
25年以上	(9)



【職 名】

看護補助者	(65)
介護福祉士	(52)
ヘルパー	(1)

【施 設】

病 院 (94)
 その他施設 (介護医療院 (1)、老人ホーム (1)) 未記入 (22)